

獣医学共通テキストの編集刊行作業について

橋本善春 獣医学共通テキスト編集委員会

北海道大学大学院獣医学研究科

1. 各共通テキストの編集進行状況

獣医学共通テキスト委員会の事業計画により現在までに編集作業が開始された共通テキスト数は、「導入・基礎獣医学分野」：10 テキスト/13 教科目、「病態獣医学分野」：5 テキスト/7 教科目、「応用獣医学分野」：8 テキスト/8 教科目、「臨床獣医学分野」：4 テキスト/23 教科目を数える。

これらの教科目のうち臨床獣医学分野共通テキストについては、従来の内科学、外科学、繁殖学など伝統的な教科目による教育体系区分から新たに臓器系別、動物種別、診断系別のより細分化された臨床獣医学教育体系に移行したことから、臨床各教科目分野ではそれら共通テキストの執筆・編集に関する合意形成や編集推進プロセスの調整等にしばらく時間を要している。今後臨床獣医学分野共通テキストの編集推進を進めていただくべく編集環境の整備等に努めたい。

2. 新たに刊行された獣医学教育モデル・コア・カリキュラム準拠・獣医学共通テキストの

レイアウト/体裁等について

これまで他のテキストに先行して編集作業が進められていた下記の共通テキストが本年3月までに刊行された。これらの共通

テキスト内には「全体目標」、「一般目標」、「到達目標」、「学習のポイント・キーワード」の記載、および各章ごとに「演習問題」が設けられている。

本共通テキスト委員会では、今後刊行される各教科共通テキスト間の体裁の統一、および獣医学共用試験の実施に向けて学生の学習の便を図ることを目的として、獣医学モデル・コア・カリキュラムの内容に準拠する記載および体裁をそなえるテキストについて、その表紙に「獣医学共通テキスト委員会認定」の文字および以下のロゴマークを付して獣医学教育モデル・コア・カリキュラムに準拠する共通テキストであることを証する予定である。

- ・獣医疫学：獣医疫学会編、第二版、229 頁、2011 年 11 月刊、近代出版
- ・魚病学：児玉 洋（大阪府大）ら、166 頁、2012 年 3 月刊、緑書房
- ・動物行動学：森 裕司ら、164 頁、2012 年 3 月刊、インターズー
- ・解剖学：日本獣医解剖学会編、2012 年 3 月刊、学窓社
- ・組織学：日本獣医解剖学会編、2012 年 3 月刊、学窓社
- ・発生学：日本獣医解剖学会編、2012 年 3 月刊、学窓社



(獣医学共通テキスト委員会認定ロゴマーク)

